第64回新型コロナウイルス感染症対策本部会議

日 時:令和4年8月29日(月)

17時30分~

場 所:庁議室

議 題 新型コロナウイルス感染症への対応について

次第 1 開会

- 2 本部長指示
- 3 状況報告
- 4 閉会

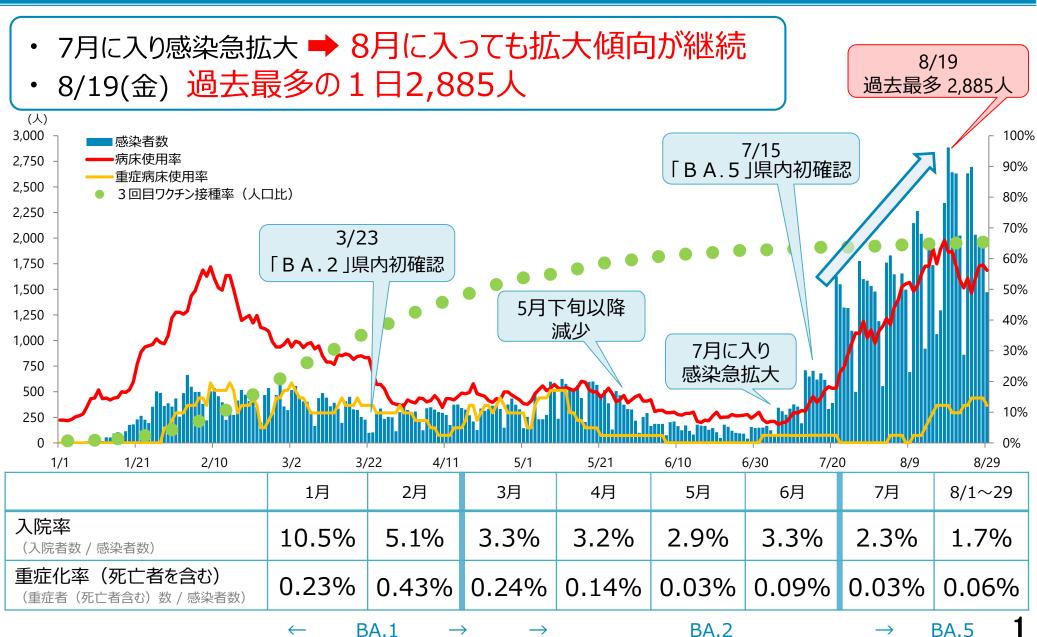
新型コロナウイルス感染症対策本部会議出席者名簿

本部長	知事	馳 浩
副本部長	副知事	徳田 博
	副知事	西垣 淳子
本部員	教育長	北野喜樹
	警察本部長	中島 寛 (代理)警備部長 田畑 健司
	総務部長	澁谷 弘一
	危機管理監	村上 勝
	企画振興部長	光永 祐子
	県民文化スポーツ部長	酒井 雅洋 (代理)次長 森田 典子
	健康福祉部長	永松 聡一郎
	生活環境部長	竹沢 淳一
	商工労働部長	内田 滋一
	観光戦略推進部長	竹内 政則
	農林水産部長	石井 克欣
	競馬事業局長	臼井 晴基
	土木部長	鈴見 裕司

アドバイザー	金沢大学特任教授	市村 宏
	金沢医科大学病院長	伊藤 透

県内の感染状況 (8/29 (月)時点)





県内の感染状況 (8/29 (月)時点)



- 夏休みやイベント、お盆等もあり 接触機会が増加 したこと
- ワクチンの3回目接種は概ね終了したものの 接種開始から半年が経過し 効果が弱まっている とされること
 - → 3回目接種者の感染リスク 3月:7分の1 → 4月:6分の1 → 5月:5分の1 → 6月:3分の1 (対未接種者比)
 - 感染力が強いとされる 変異株 B A . 5 への置き換わり が進んでいること などが感染拡大の要因と考えられます
- ○感染者数は 10代以下や30代は減少 60歳以上の高齢世代などは増加

→ 10代以下 20代 30代 40代-50代 60代以上 7/ 1~ 7(7波初期) 43.6% 12.5% 14.1% 21.4% 8.3% 8/23~29(直近1週) 25.8%(▲17.8) 14.2%(+1.7) 13.2%(▲0.9) 26.6%(+5.2) 20.1%(+11.8)

- 病床使用率は 50%を超え 予断を許さない状況
 - → (8/29時点) 病床使用率56.2% 重症病床使用率12.2%
- 高齢の方は 重症化リスクが高い ので特にご注意ください
 - → 重症化率: 60歳未満0.00% 60歳以上0.20%

(重症者(死亡者含む)数/年代別感染者数)※R4.6月~7月の本県感染者の分析による

医療・検査体制の確保



◎運用病床

8/15(月)から フェーズ 5 (504床)

※ 宿泊療養施設 2棟·630床 計 1,134床

◎無料検査・一斉検査の期間延長

検査の種類	対 象	期間
無料検査 <県内271薬局で実施中>	無症状の県民の方	8月31日(水)まで
一斉検査 <感染拡大・重症化リスクのある施設>	病院・介護施設等 保育所等 の職員	⇒ 9月30日(金)まで延長

- ※症状のある方(発熱、のどの痛み等)は 診療・検査医療機関を受診してください
- <お盆期間中の金沢駅臨時検査所の実績>
 - ・8/9(火)~18(木)の10日間 金沢駅東もてなしドーム地下広場に開設
 - ・検査: 2, 381件 陽性疑い: 98件

入院医療機関(病床)の負担軽減



◎施設への帰宅や自宅療養への切り替え要請(R4.8.5)

必要な方が優先的に入院できる体制の確保 を医療機関に改めて要請

- ・ 入院治療が必要なくなった高齢者施設等入所者の 施設への帰宅促進
- ・ 症状軽快した患者の 入院から 自宅療養への切り替え

◎ 救急搬送受け入れ体制確保の要請(R4.8.18)

救急搬送の集中回避に向けた体制確保 を医療機関に要請

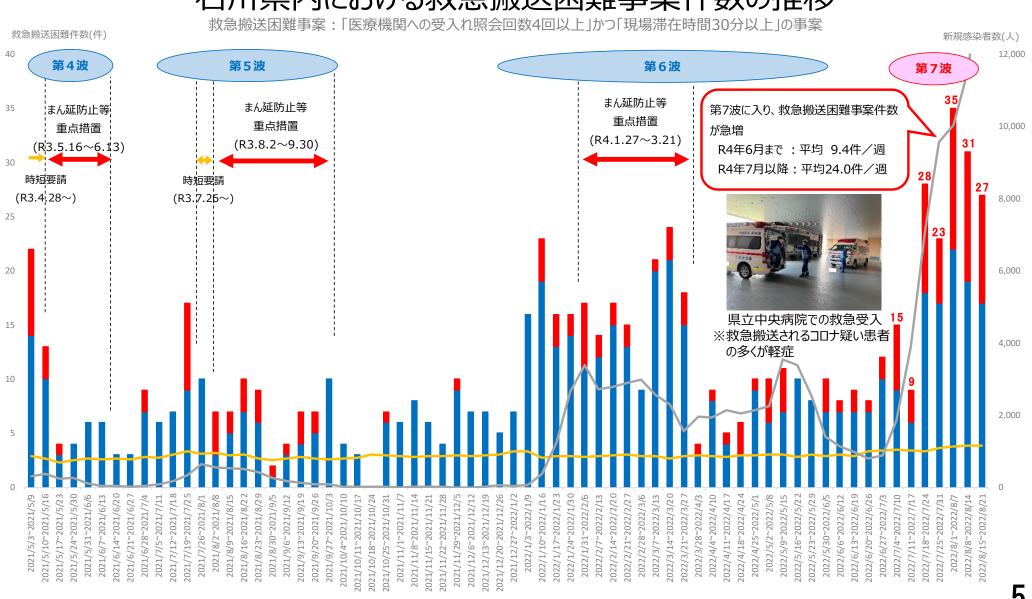
- ・ コロナ病床を持たない救急告示病院での 非コロナ救急患者の積極的受入
- ➤ 病床使用率は 50%を超え 予断を許さない状況
- ▶ 現在のところ 必要な方は全て入院治療できているが 感染拡大が続けば 必要な方が入院できなくなる恐れ

今一度 基本的な感染防止対策の徹底を

救急車の適切な利用をお願いします



石川県内における救急搬送困難事案件数の推移



救急車の適切な利用をお願いします



救急医療を必要な方が 適切に救急医療を受ける ことができるよう 適切な受診を心がけるようご協力をお願いします

◎緊急を要する場合(こんな時はすぐに救急車をご利用ください!)

- 呼びかけても 肩をたたいても 反応がない (意識がない)
- けいれんが止まらない
- ・ 呼吸がない もしくは 呼吸困難な状態
- 激しい痛み(頭痛胸痛腹痛など)
- ・ 大量の出血 もしくは 出血が止まらない
- ・ 顔のゆがみ 上肢などの麻痺 (腕や足が動かない) 舌のもつれ

◎比較的症状が軽い場合

- ・ まずは かかりつけ医に連絡 をお願いします
- ・ 休日・夜間で かかりつけ医が対応できない場合は 休日・夜間応急診療所 や 在宅当番医 に連絡

○ 診療・検査医療機関はこちら

https://www.pref.ishikawa.lg.jp/kansen/zyusin.html 近くの診療・検査医療機関を検索できます

- 医療機関を受診するか迷われる方は 「石川県発熱患者等受診相談センター」まで 0120-540-004 (フリーダイヤル) 24時間対応 (土日祝日含む)
- ○休日当番医の連絡先等はごちら

https://www.pref.ishikawa.lg.jp/iryou/support/iryoukeikaku/kyuukyuu.html



発熱外来の負担軽減



◎発熱外来の負担軽減

・医療機関への検査キット配布

休日当番医に加え 平日も 検査キットを配布

できるだけ平日・日中の受診をお願いします ※ 夜間は応急対応のため検査目的の受診はお控えください

→ 外来受診前に患者自ら検査 する体制を構築

※9月以降開始予定

・陽性者登録・フォローアップセンターの設置

自己検査により陽性となった方が、電子申請により陽性者として登録

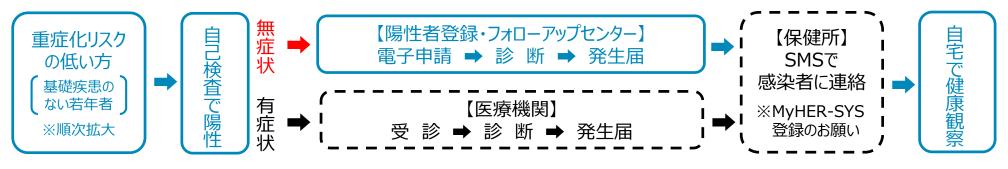
→ 医療機関を経ずに自宅療養 できる体制を構築

対象: 重症化リスクの低い(基礎疾患のない若年者)無症状の方で

県・金沢市が提供した検査キットで自己検査した方 (順次拡大)

※9月以降開始予定

※登録方法は後日案内



感染者の「全数把握の見直し」は 国の動きを注視し 医療関係者のご意見も丁寧に聞きながら判断

ワクチン接種の促進



○ 3回目未接種の方へ

- ワクチンの発症予防効果は2回接種から時間が経つと有効性が下がりますが3回目の追加接種で有効性が回復します(国立感染症研究所)
- 若い世代 (10~30代) の皆様は 積極的な接種をお願いします
- 4回目未接種の方へ
 - ・ 4回目接種の対象の方もすみやかに接種をお願いします
- ※ オミクロン株対応ワクチン接種は秋頃開始予定ですが、感染状況を踏まえ、できるだけ早く従来のワクチン接種をお願いします

◎ 3回目接種の状況(8/28時点)

2回接種済比 全 体 80.0% (全国79.3%)

高 齢 者 95.9% (全国96.0%)

10~30代 62.3% (全国61.6%)

※12歳

◎小児接種 (5~11歳) の状況(8/28時点)

対象人口比 1 回 目 21.8% (全国19.5%)

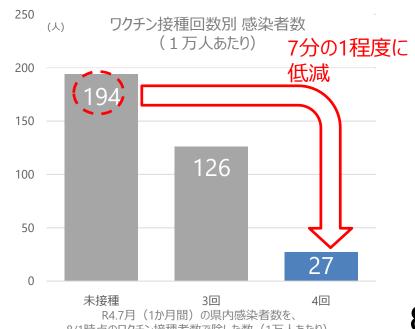
2 回 目 20.6% (全国17.9%)

◎ 4 回目接種の状況 (8/28時点)

3回接種済比

62.2% (全国65.3%)

※4回目接種者数を、60歳以上の3回目接種者数で除した割合



(参考) 県民の皆様へ







○医療機関を受診される方へ

- →発熱などの症状のある方は、かかりつけ医などの身近な医療機関に事前に電話の上、受診してください https://www.pref.ishikawa.lg.jp/kansen/zyusin.html Google Map上でお近くの診療・検査医療機関を検索できます
- →日曜日、祝日は、休日当番医に事前に電話の上、受診してください
 https://www.pref.ishikawa.lg.jp/iryou/support/iryoukeikaku/kyuukyuu.html
- ○医療機関を受診するか迷われる方はこちらまで
 - ▶ 「石川県発熱患者等受診相談センター」 0120-540-004(フリーダイヤル) 24時間対応(土日祝日含む)



○新型コロナウイルス感染症に感染された方へ https://www.pref.ishikawa.lg.jp/kansen/kannsennsha.html



○濃厚接触者・感染者と接触のあった方へ https://www.pref.ishikawa.lg.jp/kansen/noukousesshokusha.html



○無料検査に対応する薬局はこちら https://www.pref.ishikawa.lg.jp/kansen/ippankensa.html

県立学校における感染症対策について



2 学期に向けての対応

「新しい生活様式」や「三つの密」の回避など、基本的な感染防止策について、改めて周知徹底(8/26)

同一学級等で複数の児童生徒の感染が確認された場合でも、感染経路に関連がないなど、学校内で感染が広がっているおそれがない場合は、学級閉鎖等は実施しない(文科省ガイドライン8/19改定)

学校における感染拡大を防止しつつ、 学習教育活動を継続し、児童生徒の学びを保障

(※) マスク着用について

熱中症が命に関わる重大な問題であることを踏まえ、気温・湿度や暑さ指数が高い日には、体育の授業、運動部の活動中、登下校時においては、 熱中症対策を優先し、マスクを外すよう指導

皆様へのお願い



- ○感染状況は、8月に入っても、拡大傾向が継続
- ○病床使用率は、50%を超え、予断を許さない状況
- ○救急車の救急搬送困難事案件数が急増

感染拡大が続けば、必要な方が入院できなくなる恐れがあります

<u>これから学校では2学期が始まり、人と人との接触が増え、</u> 感染リスクが高まります

県民の皆様それぞれが感染しない/させない対策が必要です 改めて基本的な感染防止対策の徹底 をお願いします

皆様へのお願い



改めて 基本的な感染防止対策の徹底 をお願いします

○「三つの密」の回避 ○こまめな手洗い ○効率的な換気 など

特に

外出の際には

- ・体調が悪い場合や混雑した場所・感染リスク が高い場所への外出は控える
- ・県をまたぐ旅行などの際には、感染防止対策を徹底

飲食の際には

- ・なるべく少人数で黙食を基本
- ・会話の際にはマスク着用
- ・「いしかわ新型コロナ対策認証店舗」の利用

※事業者は「業種別ガイドライン」を遵守

職場では

- ・テレワーク、時差出勤の推進
- ・人が集まる場所での感染防止対策を徹底 (マスク着用の周知、効率的な換気、手指消毒設備の設置など)
- ・居場所の切り替わりに注意 (休憩室、更衣室、喫煙室など)

家庭では

- ・子どもの感染防止対策を徹底
- ・高齢者や基礎疾患のある方、その家族は、 感染リスクの高い行動を控える
- ・エアコン使用時も効率的な換気

- •分析対象者:第3回調査参加者1,578人
- ・検体採取時期:今年5月14日~22日(第1回調査:昨年10月下旬、第2回調査:今年1月下旬)

◎ 3回目接種の効果

- ・3回とも同じ種類を接種した場合(「ファイザー→ファイザー→ファイザー」、「モデルナ→モデルナ→モデルナ」)、交差接種をした場合(「ファイザー→ファイザー→モデルナ」、「モデルナ→モデルナ→ファイザー」)、いずれも十分な抗体価(抗体の量)の上昇を確認。
 - 第2回調査時(2回接種済、3回目未接種)の値との比較で、いずれの場合も、抗体価が15倍以上上昇(中央値比)
- ・3回目未接種の場合、抗体価は、2回接種のみの場合 (第1回調査時) と比較して、 約4割に低下。
- ・2回接種で得られた抗体は、オミクロン株に対する十分な中和活性(※)を有していなかったが、 3回目接種後には、オミクロン株に対する中和活性の有意な上昇を確認。
 - ※ ウイルスのタンパク質に結合して感染を防ぐ作用

◎ 3回目接種後の副反応

- ・モデルナ3回接種後の副反応は、2回接種後との比較で有意に軽減。
 - ※ モデルナ3回目接種は、1、2回目の半量